

生誕  
120年

木版画とともに歩んだ50年

前田政雄展

Maeda Masao:  
The 120th Anniversary of His Birth

生誕  
120年

前田政雄展

木版画とともに歩んだ50年

●関連事業

▷特別美術講演会

**前田政雄を探して**  
—関野準一郎旧蔵  
日本近代版画資料を中心に—

講師：菅野晶 氏（青森県立美術館学芸員）  
日時：2024年1月20日（土）10時30分～（60分）

▷担当学芸員による見どころ解説

講師：当館学芸員  
日時：2023年12月23日（土）、2024年3月16日（土）  
各日14時～（各30分）

▷美術講座

**前田政雄と北海道（仮）**  
講師：田村允英（当館学芸員）  
日時：2024年2月3日（土）14時～（60分）

**前田政雄の全貌（仮）**  
講師：大下智一（当館学芸課長）  
日時：2024年3月2日（土）14時～（60分）

会場：いずれも当館講堂（要観覧券）

このほか会期中はハコビ・マジカル・ワークショップ、ハコビ・アトリエなども予定しています。詳しくは当館ホームページをご覧ください。

●同時開催

**ミュージアム・コレクション 冬～春**  
12月23日（土）～2024年4月14日（日）

\*会期中、一部作品の展示替えを行います。  
\*作品はすべて当館蔵

**「新収蔵品展」(常設展示室)**



令和4年度に新たに収蔵された作品をご紹介します。

砂田友治  
《北海の男たち(3)》1960年代

**「金子鷗亭Ⅲ期 生誕140年 孤高の書家・中野越南」(鷗亭記念室)**

書壇から距離を置き、孤高の書家として独自の道を追究し続けた中野越南の書の数々をご覧ください。



中野越南  
《古今独歩》1951年

\*2023年4月、小玉貞良《江差屏風》が函館市指定文化財になりました。このことを記念して、下記期間で同作品を特別展示します。

2024年2月22日（木）～4月14日（日）



小玉貞良《江差屏風》1751-64年頃（宝暦年間）

**観覧料：**  
一般 260(210)円、  
高大生 150(110)円  
( )内は10名以上の団体料金

\*中学生以下、65歳以上、  
高等学校の教育活動による観覧は無料。  
\*土曜日は、高校生も無料。

Maeda Masao:  
The 120th Anniversary of His Birth



前田政雄《駒ヶ岳》1959年 当館蔵

12/23 [土] 2023 → 4/14 [日] 2024

前期：12/23(土)～2024/2/18(日) 後期：2024/2/22(木)～4/14(日)

休館日：月曜日(1/8、2/12は除く)、年末年始(12/29-1/3)、1/9(火)、2/13(火)、会期中展示替期間(2/20-21)  
開館時間：9時30分～17時(ただし入場は16時30分まで)

観覧料：一般510(410)円 高大生300(200)円、65歳以上及び中学生以下は無料

●( )内は前売り、リピーター割引、どうなんアートリンク、および10名以上の団体料金。●親子割引など、お得な料金もあります。  
●無料になる方：身体障害者手帳や療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方(マイロID利用可)及びその介護者(1名)など  
●学校の教育活動で利用する場合は無料

主催：北海道立函館美術館 共催：北海道新聞函館支社 後援：函館市、函館市教育委員会、NHK函館放送局、FMいるか  
協力：北海道旅客鉄道株式会社函館支社、五稜郭タワー株式会社、函館美術館ボランティアの会

※展覧会およびイベントの予定は、やむを得ず変更となることがあります。その場合は、当館ホームページおよびX(旧:Twitter)、Facebookにて発表いたします。  
※当館は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)拡大防止対策をとっています。

北海道立函館美術館 HAKODATE MUSEUM OF ART, HOKKAIDO

●交通案内  
市電：「五稜郭公園前」下車徒歩約7分  
バス：「五稜郭公園入口」「芸術ホール前」「五稜郭病院前」「五稜郭」下車徒歩3～10分  
タクシー：JR函館駅より約10分/函館空港より約20分  
駐車場：函館市芸術ホール駐車場をお使いいただけます。  
※当館ご利用の方は駐車料金がかかります。



北海道立函館美術館  
HAKODATE MUSEUM OF ART, HOKKAIDO  
〒040-0001 函館市五稜郭町 37-6 TEL. 0138-56-6311  
<https://artmuseum.pref.hokkaido.lg.jp/hbj/>



## 美刹の古く曲る石

函館出身の前田政雄（1904-74）は1924（大正13）年、木版画家・平塚運一の知遇を得て上京。梅原龍三郎から油彩画、平塚から木版画を学びましたが、やがて版画の道に専念します。

初期は、平塚門下らしい線描主体の素朴な表現を展開。のちに恩地孝四郎らから刺激を受け、次第に大胆な色面配置と大らかな構図ながらも重厚さを感じさせる山岳風景版画を制作するようになります。60年代以降は、丁寧な摺りによる美しい色彩と簡潔な構図によって、京都・奈良の古刹の放つ美しさを表現しました。約50年にわたる版画家人生の中で、題材のほとんどを風景に求めた前田は、一貫して日本的な美を追求した版画家と言えるでしょう。

本展では、初期から晩年までの版画・油彩だけでなく、戦前の版画誌や版画技法書、道内壇壇との交流を示す色紙や写真、挿絵・装丁を手かけた書籍など約200点を前後期に分けて紹介。日本近代版画史とともに歩んだ前田の画業を、生誕120年となる記念すべき年に、改めて振り返ります。

外国人蒐集家  
のとも射止めた  
魅惑の黒猫



前田政雄《石庭C》1962年 木版・紙

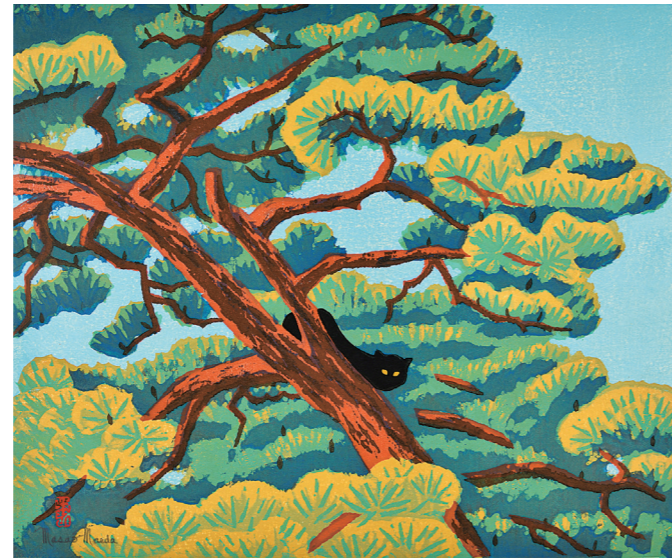


前田政雄《飛び石》1964年 木版・紙 [前期展示]

## 強い線を刻む



前田政雄《函館風景》1927年頃 木版・紙  
市立函館博物館蔵



前田政雄《黒猫》1940年 木版・紙

生誕  
120年

## 前田政雄展

木版画とともに歩んだ50年  
Maeda Masao:  
The 120th Anniversary of His Birth

## 御用邸をかざる 精魂かけた絶筆



前田政雄《ポタン》1971年 木版・紙 [前期展示]

知られざる  
道内作家との交遊録

## 山の版画家 ここに極まれり



本間紹夫《前田氏の像 昭和六年十月一日 紹夫》1931年  
墨・色紙 個人蔵



前田政雄《霊峰富士》1940年 木版・紙



前田政雄《歳王火口壁》1957年 木版・紙



前田政雄《鉄線蓮》1971年 木版・紙 [後期展示]

\*所蔵の記載のないものはすべて当館蔵